

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年 6月6日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690800018
法人名	株式会社 みさき
事業所名	グループホーム みさき
所在地	鹿児島県出水市庄850-3 電話 0996-64-2780
自己評価作成日	H27.3.2

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成27年3月23日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

月1回の運営推進委員会に重点を置き、地域社会とのかかわり方などについて、検討・助言を頂き大変参考になっている。特に民生委員さんには、絵画展のお誘いを頂いたり、入所者のご家族からは自家製野菜の提供も頻繁にある。年間の行事には家族会との連携も保てており、行事等協力頂いて助かっている。地域や家族との一体感が得られ、その重要性を痛感している。又職員に対する福利厚生(出産・育児)の導入や体調不良、希望休みの変更などにも迅速な対応に心がけている。今後もより一層の施設の向上を目指していきたい。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは市中心地より少し離れた国道3号線沿いに建てられ、周囲は田園が広がり冬はナベツルが飛来し、ホーム脇の水田でも日常的に観察できる自然豊かな環境である。広い園庭には菜園があり、また建物の天井は高く天窓が設けられて明るく、清潔や空調、防臭等にも細かに配慮されて快適な環境になっている。リビングの中央に位置する対面式キッチンからは調理の音や匂いが伝わり、対話や見守りが自然に行われている。広いウッドデッキも設けられお茶や日光浴しながら会話を楽しむなど、利用者は住み慣れた地区で地域住民と触れ合いながら穏やかに過ごしている。

○管理者や職員は、利用者の尊厳や誇りを大切に、思いや意向、日々の変化等の把握に努め、利用者にとってより良いケアの実践に家族とも協力して取り組んでいる。

○管理者は常に何でも言い合える雰囲気づくりに配慮して、日常的に職員の意見や要望、相談等を聞き取り、また内容によっては個別面接も行いながら把握に努め、対応や改善については、申し送りやスタッフ会議で十分話し合う等、連携してサービスの向上に反映させている。管理者と職員間の信頼関係、協力体制は構築されて働きやすい職場の運営がなされている。

○管理者は、職員のスキルアップにも積極的に取り組んでおり、ホーム内の研修も計画的に実施し、また外部の研修にも職員の経験年数や職務を考慮しながら全員が受講の機会を得る取り組みがなされている。また、職員の資格取得へのバックアップも積極的に行われており、職員のモチベーションの向上に繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域密着型のグループホームの意義を基にスタッフ全員で作成した理念を糧に、ケアが生かせるように努めている。	ホーム開設時に全員で検討して作成した理念は、目につきやすいように大きな字でホールに掲示してある。毎日の申し送りやスタッフ会議でケアの振り返りや研修を実施して認識を深め、職員一人ひとりが理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入している。運営推進委員会には自治会長・民生委員の方には主席して貰い、地域の情報等が得られるようにしている。近所の方が自宅を利用して絵画展を開かれた際は声をかけて貰い見学させてもらっている。	自治会に加入し、清掃奉仕の参加のほか、小学校の運動会や絵画展の見学等を積極的に行なっている。日常的に散歩や買い物に出かけ地域の人々と挨拶や会話を交わしている。また、家族や友人知人の来訪も多く、近隣の方から果物や野菜を頂く関係が築かれており利用者はこれら地域の人との交流を楽しんでいる。踊りや歌のボランティア並びに施設見学の受け入れのほか、地域の人から寄せられる高齢者福祉に関する悩みや相談にも誠意をもって対応している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	花見会を開催して近所の方を招き、施設見学も行った。利用者やその家族、地域の方々と接してもらい認知症の理解や支援を得られるように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会長・民生委員・市の職員・家族代表に参加してもらい施設での状況を報告し、意見や助言を頂きサービス向上に生かしている。	会議は家族、地域住民、民生委員、行政の職員が参加して定期的開催されている。利用者の現況や行事の取り組み状況、外部評価の報告、ヒヤリハットの事例報告がなされると共に、委員からはケアに関する質問や意見及び地域の高齢者の情報等が活発に出されている。それらは職員にも周知が図られて、家族や地域との交流や日々のサービス向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	利用者の生活保護受給や介護・業務に関する相談を市担当者で行い、サービス向上に取り組んでいる。	市担当者には運営推進会議に出席して頂くとともに、訪問や電話で施設の運営やケアに関する相談や意見交換を行い、また諸手続き等の助言・指導を頂くなど協力関係を築いている。市が開催する会議や研修会にも積極的に出席しており、これらはサービス向上に反映させている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	利用者の自由を奪うことが無いよう声掛けにも注意を払い、動ける空間作りに配慮し拘束しないケアに取り組んでいる。一人歩行が危険な方はスタッフ間連携して見守り・手添え歩行してもらっている。	居室や玄関等の施錠は行わないで、利用者の行動を制限しないケアに日々取り組んでおり、利用者が外出しそうな場合には職員が付き添って対話や散歩等で安定を図っている。マニュアルの整備とともに、虐待防止・権利擁護等に関する研修を市担当者を講師に実施して、言葉による拘束も含めて身体拘束の理解を深め、日頃のケアを振り返りながら安全の確保やその人らしい暮らしに向けた支援に日々努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	市の職員を招き虐待に関する勉強会を行っている。ケアの仕方・言葉使い等が虐待に繋がっていないか、振り返る機会を設け防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	市の職員を招き権利擁護に関する勉強会を行っており、必要性がある時に活用できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所される前に家族の方に契約書・重要事項・入院・退居に関する説明を行い、十分に理解納得が得られるようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族が親しみやすく話しやすい雰囲気努めており、面会の際に意見・要望等が聞けるようにしている。又家族会が年3回行える場を設け、意見要望等を運営に反映できるように努めている。</p>	<p>利用者の思いや意見は、日頃のケアの中での対話や表情、所作の見守り等で把握に努めている。家族からは、来訪時の対話や家族会、電話等で、話しやすい雰囲気作りに配慮して気軽に意見や要望を頂くように取り組んでいる。意見等は申し送りノートや日誌、ケース記録で共有し、申し送りやスタッフ会議で十分検討してケアの改善に努めており、結果は本人や家族にも報告している。苦情相談窓口の周知や意見箱も設置している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>スタッフの意見は常に聞けるようにしている。内容によってはスタッフ会議を利用して全員で話し合うようにしている。</p>	<p>職員の意見や要望等は、毎月の「スタッフ会議」や日常のケアの中及び申し送り時に、また個人的な内容は職員個々に合わせた声かけや面接を行う等、話しやすい雰囲気作りに努めて把握し、管理者はこれらを業務改善や利用者へのサービス向上に活かすよう努めている。特にケアに関することは、職員の意見を十分に聞き取り、改善については全員で検討して対応するなど、質や意欲の向上に繋がるように取り組んでいる。資格取得や研修参加の希望には、積極的にバックアップして職員のスキルアップを図っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員が向上心を持って働けるように、勤務状況・勤務時間の調整を行い、働きやすい職場環境にするために努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内の研修は年間計画を立て全員が参加できるようにしている。</p> <p>又法人外研修にも交代で全員が受けられる機会を持ち、受講後は発表の場を設け、研修内容を共有できるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会・他の施設と情報交換等を行いサービス向上に努めている。</p> <p>施設見学や研修の受け入れなど行なうようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	傍に寄り添い本人の昔の話や家族の話聞きながら、安心感を与え心とむすぶ雰囲気作りをしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所希望の経緯・不安・要望などを聞き、本人や家族の要望に添えるようにプランに入れて支援できるように努力している。又日々の様子は面会時や電話で報告してコミュニケーションを取っている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	日常生活の中で今一番困っている事、支援を必要としている状況を把握し、スタッフ会議で支援法、又リスク対応等を話し合っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	いりこ・もやし等の下処理、洗濯物干しや洗濯物たたみ、掃除等日常生活でかかわることは手伝って貰っている。又昔行っていた行事の飾り物・畑仕事・干し大根作り等を教えあっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	心身の状況変化があれば家族に相談し話し合っている。 又家族会や諸行事に参加してもらい、家族間・本人・施設とのコミュニケーションを図り、話し合いや意見等を出して貰い、お互いの関係を深めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚や友人等面会に見えた時には、自分の部屋・テーブル席等好まれる所を提供している。墓参りや信仰しているお寺さん等に出かけて貰っている。施設では四季それぞれの地元の花や景色を見にドライブしている。	利用開始時に本人や家族、関係機関から、生活歴、病歴、家庭環境、地域の人との交流状況、趣味、嗜好等の聞き取りを行い、フェイスシートや「アセスメントに関する項目」に整理して情報を共有している。本人の希望に沿って、地域の行事への参加や買い物等、馴染みの人や場との関係が途切れないように家族と協力して支援している。遠方に居住している家族とは電話や手紙の取り次ぎで関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操・レクリエーションは円形に座りお互いの顔が見れるようにしている。食事席では会話の合う方と座ってもらっている。日々の作業手伝いでは、会話しながらできるように、複数人で行なえるように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されている方には様子を伺い、家族と連絡を取り合っている。退院の相談や支援を行っている。退去後の様子を伺ったり次の施設からの要請がある時は情報提供など行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の行動・対話・家族の面会を通じ、ひとりひとりの意向を聞き取ったり感じ取ったりしている。判断や意志表出の困難な方にはスタッフ会で話し合い支援法を検討している	本人やご家族との対話や日頃のケアの中で、思いや希望をくみ取るように努めている。「申し送りノート」や「日誌」で情報を共有し、スタッフ会議や申し送りで対応を話し合い、また家族とも相談しながら、意向に沿った本人本位のより良い支援に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族・これまでに関わりのあったケアマネ・医療機関などから情報を得ている。スタッフ会議やフェイスシートを用いて共有し合っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の出来る事出来ない事や性格などを把握して、日常生活の中で生かしていけるようにスタッフ会議で把握し合っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	心身の状況を把握して・本人・家族を交えて担当者会議で希望意見を聞いて計画書を作成している。定期的にモニタリングを行い、現状に合っているかを検討し合っている。モニタリングで変更のある時は家族に報告し意見や協力を仰いでいる。	介護計画は、利用者及びご家族の思いや意見を十分に聞き取り、主治医や担当職員の意見を基にスタッフ会議で検討して利用者本位のものを作成している。支援の状況はケース記録票や体調管理表に記録され、3カ月ごとにモニタリングと計画の見直しを行って改善に努めている。また、入院など利用者の状態変化に対しては、現状に即した計画の見直しや修正を適切に行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の日誌やケース記録・申し送り職員間で共有している。体調変化や心身の変化はその都度カンファレンスやスタッフ会議で対応を出し合い計画の見直しを行う。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	穏やかに過ごせるよう、自分の家にいるような雰囲気作りに努め、日々の状況に応じたケアを行い、管理し過ぎな支援を心がけている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日頃から地域資源の情報を得て個々の生活歴や習慣に合わせた暮らし・馴染のスーパーでの買い物や畑仕事等出来るように工夫している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は、本人家族の希望で決定する。月に1～2回往診もしくは家族と一緒に通院して貰っている。受診に際しては日々の生活で気になることなど情報提供し、医師より直接、又は間接的に指示・指導を受けている。	利用者の既往歴や受診の状況は十分に把握されて、本人や家族が希望する医療機関での受診を支援している。通院は原則家族が同行しているが、状況により職員が支援するときもある。また、月1～2回協力医療機関の往診も実施されている。受診結果は電話や来訪時の対話で家族と共有しており、医師との連携や情報交換も体調管理表や診察記録を活用して適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>体調管理表を作成し、常に体調の把握に努めている。 心身の状態に変化があった時施設内の看護師に連絡して助言を貰っている。必要時は往診や受診をして貰っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中の状況や退院に向けてMSWや病院関係者と電話や面談で情報交換を随時行っている。又入院の間も利用者との面会に訪問している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に重度化に向けた家族の意向を確認し、心身の変化に応じて、施設で出来るケアの説明を重ねている。</p>	<p>重度化や終末期の対応については、利用開始時に利用者と家族に「重度化した場合における対応に係る指針」で丁寧に説明して同意を得ている。重度化した時点で主治医から病状の説明と再度家族の意向を確認しており、ホームで可能な限りの支援に取り組んでいるが、これまで看取りの実績は無い。今後、職員の不安の除去やスキルアップのための研修を検討している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修への参加（施設外）や消防署による救急法の実践研修で心肺蘇生法、AEDの使い方の指導を受けている。全職員が対応できるようにマニュアルを作成している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力を得て避難訓練・消火訓練を行っている。 また夜間一人勤務を想定したを自主訓練も行っている。</p>	<p>消防署との連携により年2回、夜間を含む火災を想定した避難・消火・通報訓練を、地域住民も参加して実施している。併せて消防署職員による防災に関する講話のほか、AEDや消火器の取扱い、心肺蘇生法等の研修が実施されて災害対策に対する職員の意識は高い。また、隣接の温泉施設との協力体制も築かれている。スプリンクラーや自動通報装置等の設置並びに懐中電灯や卓上コンロの整備、災害に備えた食料や飲料水等の準備もなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人生の先輩であるとの尊敬の念を持ち、これまで生きてこられた知識や経験を称賛し、自尊心を傷つけないような言葉がけに配慮している。</p>	<p>利用者の誇りやプライバシーを損ねることのないように、人生の先輩の利用者に常に敬愛の気持ちを持って接し、丁寧な声かけやケアの実施を日々心がけている。トイレ誘導や入浴時の声掛けの配慮はもとより、利用者が自己決定できるような語り掛けの工夫に努めている。マニュアルの整備や研修も充実しており、各種の個人記録の保管も適切である。情報誌への掲載については利用開始時に説明して同意を得ている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人が自由に行動できるよう意志を尊重し再確認し支援している。行動の見守り時は自尊心を傷つけないように配慮している</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>レクリエーション・入浴・午睡外出・行事等その都度声を掛け意思の確認をして、本人の希望を優先している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>着替えの洋服を自分で選べる方は選んでもっている。好みの服・下着など、又長年愛用した化粧水やクリームなどは家族に購入依頼している。カットは2カ月に1回行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	菜園から食材を取ってきたり、下ごしらえ等得意とされることを手伝って貰っている。昼食時は職員も同席して会話をしながら楽しく食事をしている。食後はテーブル拭き・お盆拭きを一緒に行っている。	利用者の嗜好や身体機能に応じた食事形態等を十分に把握して1週間ごとのメニューを作成している。利用者の状態や希望に配慮しながら、差し入れの野菜や菜園の野菜も活用して、栄養バランスに配慮した食事づくりに努めており、職員も一緒に会話を楽しみながら食事をしている。旬の食材の利用をはじめ、誕生会や敬老会等の行事食、季節の花見の弁当、家族との会食、手作りのおやつ等、食事を楽しめるように工夫しており、切り干し大根作りや野菜の下ごしらえ、台拭き、下膳等は利用者も一緒に楽しみながら行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の状態に合わせてお粥・刻み・トロミ使用を工夫しバランスの良い栄養が摂れるように考慮している。又個々の習慣に合わせて提供し、集計を取りながら、必要量の把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。自立度に応じて全介助・一部介助・仕上げ磨きの援助を行っている。夕食後は入れ歯洗浄剤で洗浄を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	誘導や介助を必要とする方はチェック表でパターンを把握して声掛けや誘導を行っている。トイレ誘導の方法やリハビリパンツ・パット使用についてはカンファレンスで検討・見直しを随時行っている。	利用者個々の習慣や身体機能に応じた排泄支援になるように排泄チェック表も活用して、不安や羞恥心にも十分配慮しながら可能な限りトイレでの排泄を支援している。利用者の身体機能の変動に対しては、話し合いや工夫を繰り返し、ケアプランにも組み込んで改善を図っており、各居室にはトイレが設置されているためポータブルトイレの使用はない。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日のリハビリ体操や、日中のレクリエーション、散歩等の活動で体を動かし、スムーズな排便がみられるよう支援している。個々の水分量・食事量や排便周期をチェックし、水分不足等無いように努めている。便秘の度合いにより医師に相談している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴者には声をかけてバイタルのチェックを行い、状態で確認して入ってもらっている。拒否や体調不良者、又外出や受診など時間をすらしたり、曜日の変更を行っている。	入浴は基本的には週3回であるが、失禁等には随時シャワー浴や清拭を行うなど衛生面にも留意しながら、可能な限り好みの入浴を楽しんで頂いている。入浴を拒否される場合には無理強いしないで、言葉かけや介助者、時間帯の変更など工夫して、気持ち良く入浴して頂けるように支援している。職員と親しく会話したり、浴槽に柑橘類を入れるなど入浴を楽しめるように努めている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入床はひとりひとりのペースに合わせている。カーテン・エアコンで室内環境を整えている。排泄の見守りや介助者はセンサーを設置して転倒防止に努めている。入浴や外出後は希望で横になってもらっている。寝具類は定期的に洗濯・日光に干し清潔を心がけている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師の管理するファイルに今服用中の薬説明書を個別に保管していつでも見れるようにしている。症状の変化時や薬の変更は日誌・送りノートで周知するように努めている。又服用時は必ず声に出してダブルチェックを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の会話の中で聞き取った事を基に、出来ることは安全に配慮しながら、職員と一緒にやってもらっている。たとえば農業をやっておられた方には菜園の野菜の植え付け・収穫を中心に becoming 手伝って貰い満足感や達成感が持てるようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日はベランダのベンチで日光浴をしたり、園内の散歩を楽しんでいる。 毎週月曜日は買い物に出かけている。民生委員さんのギャラリーに絵画展を見に行ったり四季の花や景色を見にドライブをしている。又家族には墓参りや外食など協力して貰っている。	敷地は広く日当たりもよく、自由に散策や日光浴が楽しめる。利用者の健康状態や天候を配慮しながら、利用者の希望に添って外気浴や庭の手入れ・広いウッドデッキでのお茶会のほか、近隣の商店での買い物や季節の花見、ドライブなどに出かけて気分転換を図っている。一時帰宅や外泊、墓参、美容室での整髪などは家族が主体的に行っており、協力して楽しく外出できるように努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の自己管理は困難であるが小遣いを所持されている方は、職員と一緒に出掛けた時に欲しい飴玉等を自分で買って貰っている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	贈り物や手紙が届いた時には本人にお礼の電話をしてもらっている。又欲しい物があったり、話したいことがある時は、本人から電話で家族と話せるように取りついでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間は、日中外の光を取り入れ、利用者に声掛けしながら換気を行い、快適に過ごせるように配慮している。</p> <p>居室の入り口には季節感が味わえるように、季節に応じた壁掛けや飾り物を作成して展示している。</p>	<p>広い庭には菜園があり、ウッドデッキでは散歩や日光浴・お茶会などを楽しめる環境になっている。ホームは木造の平屋造りで、リビングや廊下は広くて天窓が設置してあるため明るく、空調・防臭等にも十分配慮した構造になっている。季節感のある手作りの作品や生花が随所に飾られ、清潔でゆったりと居心地良く過ごせる空間となっている。また、テーブルや椅子・ソファ・畳部屋なども設置されて、利用者が好きな場所で気持ちよく過ごすことができるように工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有部分にはソファ・ベンチ・テレビ・又畳の部分がある。居室は窓から緑や田園が眺められるように工夫されている。気に入った場所でゆっくりしたり談話されたり出来るようになっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた寝具やタンス・カレンダー・時計又家族の写真などを持ってきてもらって落ち着けるようにしている。</p> <p>ヘッドの種類や位置などは、本人の習慣・安全等を考慮して本人家族・職員で話し合いながら工夫している</p>	<p>各居室はベッドやエアコン、ロッカー、水洗トイレが設置されている。ご家族とも話し合いながら、利用者が使い慣れた寝具や写真、時計、小物を自由に持ち込んで頂き、清掃にも配慮して家庭と同様に落ち着いて過ごせる環境となるように支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>歩行できる方は本人に任せた自由な行動がとれるように、手すりを設置してあり、危険防止の動線経路を確保して自立に繋げている。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない